

令和3年度九州大学法科大学院入学者選抜試験

試験問題

論文試験

(注意事項)

- 1 本試験問題は指示があるまで開かないこと。
- 2 本試験問題は（この表紙と白紙を除き）12頁、解答紙は2枚である。「始め」の合図があったら、それぞれ確認し、解答紙のすべてに受験番号を記入すること。
- 3 解答文は横書きとし、所定の解答欄に記入すること。
- 4 論文試験の筆記具は、B又はHBの鉛筆又はシャープペンシルを使用することとし、それに従わない答案は採点しないことがある。
- 5 ラインマーカー及び色鉛筆の使用は、問題検討のために、問題用紙及び答案構成用の下書き用紙に限り許可する。
- 6 採点は45点（30%）を最低合格ラインとして設定する。

I 次の文章をよく読んで、問(1)・(2)に答えなさい。

【出典】横塚晃一「ある障害者運動のめざすもの」ジュリスト 572 号 (1974 年) 209 頁—212 頁。なお、法文は執筆当時の法状況であり、表記は原文のままである。

問(1) 下線部①「『常識』として確立している」とはどういうことか。本文の内容をふまえて、350 字以内で説明しなさい。

(30 点)

問(2) 「障害者収容施設」の必要性についてあなたはどのように考えるか。下線部②「障害者収容施設 (コロニー) というものの認識の違い」をふまえ、400 字以内で論じなさい。

(45 点)

II 以下の文章をよく読み、下記の問いに答えなさい。

【出典】岡本真一郎『なぜ人は騙されるのか 詭弁から詐欺までの心理学』(中央公論新社、2019 年) 13 頁-43 頁

なお、問題の作成にあたり、脚注を省略し、強調部を平常文に直し、下線部を引くなど、原典の文章を一部加工している。

問(1) 下線部①及び下線部②について、非専門家と専門家の間で評価の相違が生じた理由を、著者はどのように分析しているか。本文の用語を用いつつ、250 字以内で説明しなさい。

(30 点)

問(2)

防護動機理論に照らせば、借金をしてまで競馬やパチンコにのめり込むようなギャンブル依存者にギャンブルを控えさせるには、どのような説得が有効と考えられるか。450 字以内で論じなさい。

(45 点)